



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月15日

上場会社名 第一商品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8746 URL <https://www.dai-ichi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 義孝
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 七條 利明 TEL 03-3462-8011
 四半期報告書提出予定日 2022年8月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期 第1四半期	1,001	52.0	△168	—	△186	—	△211	—
2022年3月期 第1四半期	658	△83.5	△151	—	△132	—	△131	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △252百万円 (—%) 2022年3月期第1四半期 △201百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期 第1四半期	△7.51	—
2022年3月期 第1四半期	△6.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期 第1四半期	9,847	4,721	47.9
2022年3月期	10,032	4,973	49.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 4,717百万円 2022年3月期 4,970百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※ 2023年3月期の配当につきましては未定としております。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

当社グループの業績は、相場環境の動向に大きな影響を受け、適正な業績予想を行うことが非常に難しいことから、連結業績予想の開示を控えさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	28,927,207株	2022年3月期	28,927,207株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	790,064株	2022年3月期	790,064株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	28,137,143株	2022年3月期1Q	19,380,567株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

前述のように適正な業績予想を行うことが難しく、その開示を控えておりますが、業績数値の合理的な見積りが可能となった時点で、別途、連結業績見通し(速報値)の開示を適宜行っていく予定です。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)による、国内外経済の閉塞感から株式市場や貴金属市場などにおいて先行き不透明な状況が続いております。また国内においては、円安による輸入コスト上昇や電気需要の逼迫から経済の停滞が懸念されております。

欧米各国では、コロナウイルスワクチン接種が順調に進み、経済活動が本格的に再開される動きもありますが、消費者物価の急激な上昇が起こっており、各国の中央銀行ではインフレ抑制のために大幅な利上げが行われ、経済情勢に水を差す状況に陥っております。

一方、ロシアのウクライナ進行による地政学的リスクが意識され、株式や債券といったリスク資産から実物資産である金へ引き続き旺盛な需要が続きました。海外の中央銀行が大幅な利上げを実施したことから内外金利差が拡大し、短期間で大幅な円安が進行しており、円安による輸入コストの増加によって日本国内で物価上昇の懸念が高まりつつある中、物価上昇に強い金への需要が高まっております。

当社におきましては、このような市場環境の中、インフレリスクや有事に強い金への注目度が以前より高まっていることから、当社子会社である第一プレミア証券での金地金の直接売買、日本クラウド証券との共同事業でインターネットでの金の売買及び積立投資を積極的に進め、金に対する幅広い投資ニーズに対応できる販売体制を構築しております。

以上の結果、売上高は1,001,797千円(前年同四半期比52.0%増)となり、売上総利益は120,400千円(前年同四半期比2.1%減)となりました。前期に引き続き経費抑制を継続的行ったものの、営業損失は168,625千円(前年同四半期は営業損失151,186千円)となりました。経常損失については186,594千円(前年同四半期は経常損失132,035千円)となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は211,410千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失131,327千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前期末より185,762千円減少し、9,847,227千円となりました。これは主に証券業における短期差入保証金396,424千円、証券業における信用取引資産109,973千円増えた一方、証券業における預託金390,000千円、投資有価証券112,211千円、商品99,627千円、売掛金87,179千円減少したことによるものであります。

負債合計は、前期末より66,512千円増加し、5,125,787千円となりました。これは主に証券業における受入保証金282,676千円、証券業における信用取引負債155,877千円増えた一方、証券業における預り金358,425千円、未払法人税等21,812千円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前期末より252,274千円減少し、4,721,439千円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失211,410千円、その他有価証券評価差額金39,354千円、為替換算調整勘定1,509千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症につきましては、当社グループの対面営業活動への影響が考えられますが、世界的な感染状況が市況に一定の影響を与える可能性もあり、今後の当社グループの業績への影響は合理的には見通せない状況となっております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,340,073	2,284,186
売掛金	87,179	—
商品	358,655	259,027
証券業における預託金	990,007	600,007
証券業における信用取引資産	1,358,433	1,468,407
証券業における短期差入保証金	2,621,455	3,017,880
その他	433,435	647,396
流動資産合計	8,189,240	8,276,905
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,562	4,403
その他	227	0
有形固定資産合計	5,789	4,403
無形固定資産		
	0	0
投資その他の資産		
投資有価証券	1,634,275	1,522,064
固定化営業債権	343,777	342,837
破産更生債権等	9,282	9,282
その他	191,128	31,328
貸倒引当金	△340,504	△339,594
投資その他の資産合計	1,837,959	1,565,918
固定資産合計	1,843,749	1,570,321
資産合計	10,032,989	9,847,227

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	41,553	8,747
未払法人税等	32,221	10,409
訴訟損失引当金	216,297	224,529
証券業における信用取引負債	1,214,412	1,370,289
証券業における預り金	650,422	291,997
証券業における受入保証金	2,785,426	3,068,103
その他	115,740	148,510
流動負債合計	5,056,074	5,122,586
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	3,200	3,200
特別法上の準備金合計	3,200	3,200
負債合計	5,059,275	5,125,787
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,661,557	3,661,557
資本剰余金	3,610,258	3,610,258
利益剰余金	△1,968,979	△2,180,389
自己株式	△245,979	△245,979
株主資本合計	5,056,856	4,845,446
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△86,602	△125,957
為替換算調整勘定	—	△1,509
その他の包括利益累計額合計	△86,602	△127,467
新株予約権	3,460	3,460
純資産合計	4,973,714	4,721,439
負債純資産合計	10,032,989	9,847,227

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	658,978	1,001,797
売上原価	536,008	881,397
売上総利益	122,970	120,400
販売費及び一般管理費	274,157	289,025
営業損失(△)	△151,186	△168,625
営業外収益		
受取利息	12	0
受取配当金	17,490	512
投資有価証券売却益	—	16,210
その他	3,935	958
営業外収益合計	21,437	17,681
営業外費用		
支払利息	0	—
売買過誤差損金	2,165	33
持分法による投資損失	—	34,280
その他	120	1,335
営業外費用合計	2,285	35,649
経常損失(△)	△132,035	△186,594
特別損失		
減損損失	—	24,440
特別損失合計	—	24,440
税金等調整前四半期純損失(△)	△132,035	△211,035
法人税、住民税及び事業税	△707	375
法人税等合計	△707	375
四半期純損失(△)	△131,327	△211,410
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△131,327	△211,410

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△131,327	△211,410
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△69,953	△39,354
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△1,509
その他の包括利益合計	△69,953	△40,864
四半期包括利益	△201,280	△252,274
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△201,280	△252,274

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金地金	投資・金融 サービス	計		
売上高					
一定時点で移転される財	565,035	87,709	652,745	—	652,745
一定の期間にわたり 移転される財	—	—	—	—	—
顧客との契約から生 じる収益	565,035	87,709	652,745	—	652,745
その他の収益	—	6,233	6,233	—	6,233
外部顧客への売上高	565,035	93,942	658,978	—	658,978
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	565,035	93,942	658,978	—	658,978
セグメント利益又は セグメント損失(△)	14,851	31,500	46,352	△197,539	△151,186

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金地金	投資・金融 サービス	計		
売上高					
一定時点で移転される財	903,381	91,897	995,278	—	995,278
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	903,381	91,897	995,278	—	995,278
その他の収益	—	6,518	6,518	—	6,518
外部顧客への売上高	903,381	98,416	1,001,797	—	1,001,797
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	903,381	98,416	1,001,797	—	1,001,797
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△2,050	10,867	8,817	△177,443	△168,625

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、2021年3月期に事業譲渡を行い営業収益の90%以上を占めていた貴金属先物事業の喪失、早期退職者募集等による従業員数の95%減少、本社を除く全営業店(10店舗)の閉鎖などにより、従前の企業活動を継続することが困難な状況にあり、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社は、当該状況を解消すべく、情報サービス等の特色ある営業手法などの導入により子会社である第一プレミア証券株式会社の業績向上及び新規事業の開発、クラウドバンクグループとの金地金事業のさらなる収益化によって当社グループの業績回復を図ってまいります。

一方で、当社グループは当第1四半期連結会計期間末日に現金及び預金として約22億円保有し、純資産も約47億円となっており、コスト削減の効果も表れてくることから、当面の事業の展開・継続をはかるに足る十分な現金及び預金を有しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。